



軍縮断行の海軍大將

広島初の内閣総理大臣

加藤友三郎通信 35

NPO 法人加藤友三郎顕彰会事務局

令和6(2024)年7月15日発行

ブログアドレス <https://blog.goo.ne.jp/tomo1861/>

【郵便振替】口座記号番号01310-1-100813【名義】NPO法人加藤友三郎顕彰会

加藤友三郎銅像 サッカースタジアムの回廊に



加藤友三郎顕彰会
理事長 土肥 博雄

広島市出身者で初の総理大臣となった加藤友三郎の功績を称えるため、比治山に銅像が建立され除幕式が挙行されたのが昭和 10 (1935) 年 11 月 3 日。その銅像は、昭和 18 (1943) 年 10 月 27 日に金属回収令により撤去されてしまいました。時を経て平成 20 (2008) 年 8 月 24 日に、銅像復元委員会によって中央公園に新たに建立されました。建立後 10 年の節目に広島市に寄贈しましたのは皆さまご存じのことと存じます。

その銅像も今回、サッカースタジアムの建設が始まり一時的に場所を移していましたが、中央公園の整備が進む中、令和 6 (2024) 年 5 月 9 日に銅像は中央公園の元の位置より少し北側に戻り、8 月 1 日からお披露目出来ることになりました。

紙屋町方面から歩いてサッカースタジアムにお越しになる多くの皆さま方に、加藤友三郎とサッカーの縁をご理解頂けるように、新たに説明板を設置致しました。

今まで全く知られていなかった事実ですが、加藤友三郎とサッカーの由来を説明板に書き込んでいます。加藤友三郎は明治 6 (1873) 年 10 月海軍兵学寮（その後「海軍兵学校」と改称）に入学しましたが、当時イギリスからアーチボルト・ルシアン・ダグラス海軍少佐をリーダーとした教官団が着任して、教育の合間にフットボールを楽しんだとのことですが、その中に加藤友三郎がいたのです。つまり、広島県人として最初にサッカーボールを蹴ったその人が、その後総理大臣となったということが知れたのです。

この加藤友三郎銅像の場所に、新しくサッカースタジアムが建設されたことは、偶然とは言え計り知れない因縁が感じられ、その縁を広島県市民の皆さまと共に大切にしていきたいと思うのであります。

